



八戸高専だより

第153号 平成30年3月

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16番地1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>



目次

卒業生・修了生への祝辞（学校長より）.....	1	国際交流センターから	21
卒業生・修了生への祝辞（後援会長より）...	2	留学生担当から	22
本科生 祝・卒業	3	男女共同参画委員会から	22
卒業生・修了生の進路状況	5	COC/COC+計画立案室から	23
卒業研究テーマ一覧表	7	図書館委員会から	24
専攻科生 祝・修了	9	相談室運営委員会から	25
専攻科特別研究発表会表彰者	9	受賞者学生紹介	25
専攻科特別研究テーマ一覧表	10	東北地区高専体育大会ラグビー競技	26
就職・進学体験記	12	全国高専体育大会	26
退職するにあたって	13	硬式野球部の活躍	27
新任教職員紹介	15	ロボコン東北地区大会開催	27
インターンシップ	16	エコラン・ロボコン・プロコン・デザコン結果	28
第4学年見学旅行	16	各種検定資格合格者数	29
教務委員会から	17	青森県・八戸市 スポーツ賞受賞者	29
厚生補導委員会から	18	卒業生・修了生表彰	30
北辰寮から	19	平成30年度行事予定表	31
4学期制実施部会から	20		



卒業・修了される皆様へ

—皆さんには無限の可能性が待っている—

八戸工業高等専門学校

校長 圓 山 重 直

卒業・修了を迎えられた皆様、おめでとうございます。

八戸工業高等専門学校に入学してからの5年間または7年間は、皆様の人生にとってとても重要な期間です。この間、皆様の成長は目覚ましいものがあります。本校で学んだ多くのことを、社会や進学先で生かして大いに活躍することを期待します。これまで、学生諸君を見守り支援してくださった保護者の皆様や、本校内外でご支援してくださった方々に心から御礼申し上げます。

平成27年度から始まった4学期制と秋学期の自主探究は今年で3年になります。自主探究では、教員のアドバイスを受けながら、まだ誰も答えの分からない問題を自分で見つけて、解決方法を探し、調査・実験し、学生同士でディスカッションするなどして科学的に解決しています。この時、新しい課題にチャレンジする精神と、調査・実験した事柄を論理的に組み立てて、皆に理解できるようにプレゼンテーションする能力が培われます。

本プログラムの成果が至るところで現れてきました。自主探究で行った研究を発展させて、学生諸君が種々の学会等で賞を受賞しています。また、プレゼンテーション能力や論理的思考は、国際会議で優秀発表賞を受けるなど、多くの実績を残してきました。自主探究で養われた能力は、学生諸君の就職先や進学する大学等で重要になります。

本年は、67名の学生が海外に派遣され、研修や研究を行ってきました。若いときに海外で生活し、現地の文化や人々に直接触れることは、これからのグローバル化社会に対応するために貴重な体験です。派遣された学生の中には、モンゴルやシンガポールで自主探究の研究テーマを派遣先の諸問題に設定し、現地学生と共に研究した学生が多数いました。

本年度は、学生諸君が課外活動でも素晴らしい成果を上げてくれました。秋季青森県高等学校野

球大会では、並みいる強豪校を破り準決勝に進み、本校が春の選抜高校野球大会の21世紀枠青森代表に選出されました。本年度、八戸で開催された高専ロボコン東北地区大会でも本校が活躍しました。全国高専体育大会で卓球部が3位、青森県高等学校総合文化祭で写真部が最優秀賞を受賞するなど多くの成果が出ています。これらの課外活動を支援してくださった、教職員や監督、コーチに改めて御礼申し上げます。

また、体育大会や高専祭に代表される多くの学校行事でも、学生諸君はチームワークで素晴らしいパフォーマンスを発揮してくれました。

本校の教職員学生の活躍は、新聞などに多く取り上げられました。本年度その総数は60件以上におよび、特に学生諸君の活躍は、地域の皆様に高く評価されています。

学業をおろそかにせず、課外活動や学校行事でも活躍することは、易しいことではありませんが、皆さんはやり遂げました。まさに文武両道を目指す本校の目標を達成したといえましょう。

これからの皆さんには、無限の可能性がありま。しかし、その可能性は皆さんが努力しなければ実現しません。希望通りの進路に就けても、将来には多くの課題が待っています。それらを、一つ一つ克服し目指す目標に向かって進むことが重要です。

夢に向かって進む過程で、皆さんが壁に当たったとき、高専で学んだ学術知識・課外活動の経験・学校行事のチームワーク・寮生活の経験など、全てが皆さんの役にたつと思います。これらの知識と経験を基礎にして更に大きく羽ばたいて頂きたいと願っています。

最後に、卒業と修了に際し、これまでご支援頂いた保護者の方々、関係者の方々にお祝いと感謝を申し上げますと共に、卒業生・修了生に輝かしい未来が開けますよう、益々のご支援ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

未来は無限の可能性あり

後援会長 小 田 良 広

ご卒業おめでとうございます。八戸高専本科卒業生ならびに専攻科修了生と今日まで温かく見守ってこられた保護者の皆様へ心よりお祝い申し上げます。

皆様は高専での5年間、専攻科修了生はさらに2年間の生活でしたが卒業を迎えて感慨深いものがあると思います。入学式を迎え、心の中は希望に胸を膨らませながら高専の門をくぐってきました。そして初めての寮生活へとなり先輩方との対面、異なる地域からの同級生たち、全てが初めての事だらけだったと思います。仲間たちと一緒に生活をする中で、多くの大切なものを学び、体験し、共に成長して「絆」を作ってきました。それは学生の時にしか出来ない大切な宝物であり、これからの人生での心の糧となって支えてくれます。

卒業される皆様は、他の大学への編入学や専攻科への進学、就職して社会で活躍する方など、それぞれの道を歩み始めようとしています。色々な場面での試練に遭遇したり、また激動とも言える社会変化が起こるかも知れません。そんな時でも高専で培った精神力、行動力、知識力を活かして荒波を乗り越える術が備わっていると思います。

さて、皆さんの中には、卒業を迎えるわくわく感、友達と離れてしまう寂しさ、このような気持ちが満たされているのではないのでしょうか。明日から学校に来なくても良い安堵感があるかもしれません。そして明日になればそれぞれの新しい日常が待っている訳ですが、社会に足を踏み入れる皆さんには自分の考えを持って選択することができる自由を得られ、一方で思い通りにならない不自由さと閉塞を感じることになるでしょう。楽しいこと、嬉しいことが沢山あるのが社会であれば、同時に辛いこと、寂しいことがあるのも社会です。そんな時に人を温かく包み込み、時には厳しい接し方をする社会に対して、皆さんには宇宙のような大きな夢の実現に向けて、自分を信じて生きて

いて欲しいと思います。胸一杯の夢を心の支えとして、沢山勉強して、運動して、友と笑い、そして悲しんだりの人生を謳歌して下さい。未来は無限の可能性が満ちていることを信じて切り開いて下さい。

皆さんが高専で学んだ知識等は社会においてリーダーとしての資質を持っています。文武両道を実践し、難しい授業や全国に先駆けた4学期制や自主探究活動では自己の思考力、判断力、表現力を持つ人材育成を目的としています。また運動部や文化部も素晴らしい成果を挙げています。恵まれた教育環境の中で活動し、結果を出し、八戸高専の名前が新聞等の紙面を賑やかにしてくれています。特に私の趣味でもあります硬式野球部が大活躍してくれました。あと少しという所で選ばれませんでしたでしたが部員たちには「ありがとう」の言葉を贈りたいです。更なる活躍を期待しています。

卒業される皆様の多くはエンジニアとして最新テクノロジーを扱う仕事に携わるとは思います。自ら考え、行動する高専プライドは皆さんの体に染み込んでいます。これからの厳しい人生を悠々と歩んでいて欲しいと思います。私たち後援会は飛び立つ皆様に拍手を送り、卒業生一人ひとりを誇りに思います。

最後になりますが、後援会を代表して、今日まで本科卒業生、専攻科修了生を温かく見守り育てていただいた校長先生を始め、諸先生方、職員の皆様方に心よりお礼申し上げます。また本科卒業生、専攻科修了生の保護者の皆様方には後援会に多大なるご支援、ご協力をいただきまして大変ありがとうございました。

今後も学生への支援や課外活動支援などの活動に引き続きご協力をお願い申し上げます。

八戸高専の更なる発展と皆様のご活躍を心からご祈念申し上げます。

祝・卒業

本科生 機械工学科

贈る言葉

機械システムデザインコース 赤垣 友治

ご卒業、おめでとうございます。「光陰矢の如し」と申しますが、5年間は思えばあっという間だったのではないのでしょうか？入学時には卒業が目標だったと思いますが、卒業はゴールではありません。新たなスタート、門出です。これからのがんばり次第で、いろいろな道を切り開くことができるでしょう。卒業にあたり、私の好きな言葉を贈ります。「感謝」：健康に、仕事に、家族に、友人に、お客様に…、もちろん卒業生の皆様に。「人は大切に」：一生で親密にお付き合いする人の数は250人とか。1人の友、お客様を得ることは250人の友、お客様を得ることを意味します。1人の友、お客様を失うことは、…。卒業生の皆様の健闘を祈っております。

卒業おめでとうございます

機械工学科 5 学年担任 村山 和裕

ご卒業おめでとうございます。皆さんの多くはこれから社会に出ることになります。自分自身を振り返ってみると、入社直後に見せられたA0を超えるサイズのシリンダヘッドの図面には、矢視や断面図が散りばめられていたのですが、どこがどうなっているのか全く形状を思い描くことができず、大変な職場にきてしまったというのが実感でした。たぶん皆さんも、大なり小なりこうした経験をするのではないかと思います。しかし、先輩方がやっている仕事を新入社員が即座にそれを飲み込んで遂行できるようになるわけではないのです。そう思って、地道に仕事をこなしていきましょう。そうすれば自然と力が備わってきます。

皆さんのご活躍を期待しています。

成長と感謝

機械工学科 5 年 舘向 拓海
(五戸町立倉石中学校出身)

入学当時、長いと感じた5年の高専生活。気づけば一瞬で過ぎ去りました。今思えば4学期制の導入など環境の変化が著しい5年だったと思います。この5年間、勉強・部活・人間関係・プライベート等あらゆるシーンで苦しい場面に直面してきました。そしてその数と同じ分成長することができたと感じています。その反面、「あの時こうしておけばよかった」など失敗したこと、今でも悔いていることもたくさんあります。それらを全て飲み込んだ上で生きていくことが大人になるということなのだと感じています。最後に、M5の皆のこれからの活躍に期待すると共に、5年間指導してくださった先生方に感謝致します。本当にありがとうございます。

祝・卒業

本科生 電気情報工学科

ご卒業おめでとうございます

電気情報工学コース長 釜谷 博行

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にはこれまで賜った多大なご支援とご協力に感謝するとともに、心よりお祝い申し上げます。さて、今年度を代表するキーワードのひとつに人工知能、いわゆるAIが挙げられます。今後、AI技術の発展により職業が代替されていき、社会生活にも大きな影響を与えようとしています。そして、AI時代になると変化のスピードがさらに速くなるといわれています。このため、既存の先入観にとらわれることなく、変化をおそれず柔軟に対応できる人になってください。高専において勉学のみならず、実に沢山のことを学んだ皆さんなら、きっと大丈夫だと思います。これからの活躍を楽しみにしております。ご健闘をお祈りいたします。

卒業を祝して ～最善を尽くそう！～

電気情報工学科 5 学年担任 松橋 信明

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、心よりお祝い申し上げます。

このクラスが3年生の時に電子工学の授業を担当し、いろんな意味で驚きました。それから3年経った今、学力的にも人間的にもだいぶ成長したと実感しております。そして、更なる成長を目指して、最善を尽くしましょう。そうすれば必ず道は開け、きっと人生を豊かで幸福なものにしてくれるでしょう。

最後になりますが、これまで育ててくれた保護者の皆様へ感謝するとともに、卒業生の皆様の今後のますますのご活躍とご健勝を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

5年間の謝辞

電気情報工学科 5 年 浪岡 洋史
(二戸市立福岡中学校出身)

八戸高専に入学した平成25年から早くも5年が経過し、紆余曲折ありましたが無事に卒業という晴れの日を迎えることができました。ひとえに先生方、保護者の皆様方に賜った熱いご支援のおかげでございます。

思えばこの5年間、酸いも甘いも様々な経験をさせていただきました。仲間との出会い、別れ、また別れ。最下級生としての振る舞いから最上級生としての振る舞いを学んだ部活動。そしてまた倒れ行く仲間たち。全てが人として成長する上でなくてはならない糧であり、輝かしい思い出でございます。

これから私たち卒業生は別々の道に進むことになりますが、袂を共にした仲間として助け合い、歩んで参ります。

祝・卒業 本科生 物質工学科

卒業を祝して

マテリアル・バイオ工学コース長 長谷川 章

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

卒業生の皆様が、本校で過ごした5年間で心身ともにたくましく成長されたことを強く実感しております。学校では、学業、部活動、そして研究活動などを通じてクラスメートや先輩、後輩、教職員等から様々な刺激を受け、それを糧に成長されてきたと思います。多くの経験は若い皆さんにとっては初めてのことであり、これを乗り越えることによって大きな自信を手に入れたことと思います。今後も是非、自己研鑽に励み、より多くの宝を得られるよう精進してください。

卒業生へ贈ることば

物質工学科 5 学年担任 佐藤久美子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様も、ほんとに安心して大変お喜びのことと存じます。心よりお祝いを申し上げます。

高専での5年間があっという間に過ぎて巣立ちのときとなりましたが、卒業生の皆さんは十分な準備ができていますか。不安を抱えながら4月からの新生活を迎えるかもしれません。しかし、自信十分な人は誰もいなくて当然です。一步一步成長していったと思います。自分自身を幸せにできるのは自分だけです。ぜひ頑張ってください。健康に気を付けて、仲間や周りの人たちに大事にして、楽しい人生を送ってほしいと思います。皆さんの活躍を楽しみにしています。

5年間を振り返って

物質工学科 5 年 堰合ちひろ
(八戸市立八戸東中学校出身)

入学当初はこれからの学校生活への希望に満ち溢れつつ、当時の5年生の大人っぽさに私は圧倒されました。今の私たちはそんな5年生になれたでしょうか。

私たちのクラスは他の学年より女子の人数がとて多いです。活発な女子たちを優しく支えてくれる男子たち、そんなC5だからこその行事やつらい時もあった学校生活を乗り越えることができたのだと思います。

最後に、C5の皆のこれからの活躍に期待すると共に、今まで支えてくれた両親、5年間指導してくださった先生方に感謝致します。ありがとうございました。

祝・卒業 本科生 建設環境工学科

ご卒業、おめでとうございます

環境都市・建築デザインコース長 藤原 広和

ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆さん、ならびに保護者、ご関係の皆さまには心よりお慶び申し上げます。今振り返れば、あっという間の5年間だったのではないのでしょうか。近年は阪神・淡路大震災、東日本大震災、そして関東・東北豪雨、熊本地震等々、日本は大きな災害に見舞われています。復興・防災・減災は土木・建築技術者の重要な使命です。設計ミス、施工ミスをしないことはもちろんですが、どんな仕事もチームワークが必要になります。今後も新たな知識の修得、技能の体得、問題・目的・プロ意識を持った偏見のない態度、そして自己の向上を継続してください。卒業生の皆さんの大いなるご活躍を祈念いたします。

卒業おめでとう！

建設環境工学科 5 学年担任 杉田 尚男

「百聞は一見に如かず」の続きには、「百見は一考に如かず」「百考は一行に如かず」があるのです。これらの言葉を知ってみると確かなるほどと思わずにいられません。特別の解説は不要でしょう。いくらたくさん見たって、ただ漠然と見るだけではダメ、じっくりと考えることが大切。さらにいくら考えたってダメ、行動に移さなければ何もならないということです。「聞く」「見る」「考える」「行動する」は、それぞれが大事なのだと思います。しかし、最後は、やはり身体を動かし、実行して初めて聞いて、見て、考えたことが価値を持つのです。どのような時代、どのような状況下でも対応する心構えが必要です。みなさんの活躍を大いに期待しています。卒業おめでとう！

報恩謝徳

建設環境工学科 5 年 野辺地 由
(八戸市立長者中学校出身)

やっと卒業を迎えることが出来る、それが今の私の素直な心境です。というのも、入学から卒業までの6年間、数々の困難と苦勞、そして涙あり笑いありの思い出があまりにも多すぎるからです。90分授業の導入、4学期制の導入、自主探究、特別再試の廃止、発展学習期間…などなど環境の変化が著しい学生生活でした。正しい選択が出来なかったときもありました、笑いすぎてお腹が痛い日もありました。語りつくせばキリがありません。しかし共通して言えることは、沢山の友人や先生方に支えられて今の自分がいるということです。これから私たちはそれぞれの道に向かって進んでいきます。多くの方に受けためぐみと恩に対してむくいる感謝の気持ちをもってこの場を借りてお礼を申し上げます。「大変お世話になりました。ありがとうございます。またいつかお会いしましょう。」

平成29年度 卒業生・修了生の進路状況

今年度の本科卒業予定者および専攻科修了予定者の進路状況を下表に示します。また、具体的な就職先、進学先については次ページの表のとおりです。

本科卒業予定者は150名であり、卒業予定者の35%（昨年度37%）に相当する53名が進学、90名が就職です。専攻科修了予定者は30名であり、修了予定者の40%（昨年度56%）に相当する12名が大学院に進学し、18名が就職します。本科、専攻科ともに昨年度に比べて就職者が増加しました。

本科生に対する就職求人数は2,602件（昨年度2,293件）、同じく専攻科では2,017件（昨年度1,787件）と、いずれもかなり上昇しております。人手不足を反映し、売り手市場傾向が続いていることが伺われます。今後も採用数を増やしたいところ、新たに本科卒業生を採用したいところも増えてきており、来年度も持続するものと期待しております。

本科の進学先で最も多いのは本学専攻科で、26名となりました。この理由として、国立大学編入学と比較して学費が安価なこと、海外への短期留学が可能なこと、難関大学院への進学に有利なことなどが挙げられます。専攻科の進学先では、東北大学大学院が6名と最も多く、次に北海道大学大学院の4名となっています。最近の傾向として、難関大学院でも専攻科からの進学を歓迎しているようです。

さて、進路について一番大切なのは何か。それは本人の心構えです。自ら進んで動かないと先には進めません。この大学はどう？、あの企業はどう？、などと勧めてくれる人はいないと思ってください。まずは、自分自身で大学や企業のホーム

ページやパンフレットを活用し、十分な情報収集を行ってください。また、インターンシップを活用することも重要です。さらに、学内外で行われる大学や企業等の説明会にも積極的に参加しましょう。早いうちから進学、就職について考え、卒業後の進路を明確にしておくことが大切です。

多くの求人担当者は、企業が必要としている人材として、知識はもちろん意欲と行動力、それにコミュニケーション能力を挙げています。これらの能力は、エントリーシートや適性検査、面接等で試されます。就職の場合、求人数が多く、簡単に内定をいただけるように思われるかもしれませんが、実際のところ選考試験はかなりシビアです。能力があるのに準備不足で第一志望に合格できない場合もございます。したがって、日頃から自己啓発を行うとともに、選考試験までに余裕をもって十分な対策をしておくことが重要です。

地元にも良い企業が沢山あります。秋に開催されるCOC+あおもり県企業内容説明会や市内企業見学ツアー、3月の学内企業内容説明会に参加して、是非検討してみてください。きっと良い企業が見つかると思います。

最後になりますが、本校では進路指導体制を充実させております。進路について疑問等があったら、担任、コース長、進学相談担当に早めに相談してください。また、毎年発行している就職・進学ガイドブックも活用しましょう。先輩方のアドバイスはきっと参考になることでしょう。

就職担当幹事

釜谷 博行（産業システム工学科長）

平成30年3月1日現在

本 科	卒業予定者			進学者 (大学・専攻科)			就 職 者			そ の 他			求人数 人	求人倍率 倍
	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人		
機 械 工 学 科	29	3	32	9	0	9	19	3	22	1	0	1	753	34.2
電 気 情 報 工 学 科	28	7	35	12	4	16	15	3	18	1	0	1	789	43.8
物 質 工 学 科	15	29	44	5	12	17	8	17	25	2	0	2	504	20.2
建 設 環 境 工 学 科	27	12	39	9	2	11	15	10	25	3	0	3	556	22.2
計	99	51	150	35	18	53	57	33	90	7	0	7	2602	28.9

専 攻 科	修了予定者			大学院進学者			就 職 者			そ の 他			求人数 人	求人倍率 倍
	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人		
機械システムデザインコース	8	0	8	2	0	2	6	0	6	0	0	0	581	96.8
電気情報システム工学コース	5	1	6	3	0	3	2	1	3	0	0	0	608	202.7
マテリアル・バイオ工学コース	6	4	10	3	3	6	3	1	4	0	0	0	389	97.3
環境都市・建築デザインコース	4	2	6	1	0	1	3	2	5	0	0	0	439	87.8
計	23	7	30	9	3	12	14	4	18	0	0	0	2017	112.1

平成29年度 就職・進学先一覧

【就職—本科】

就 職 先	M	E	C	Z	計
アイリスオーヤマ株式会社		1			1
青森県				1	1
朝日インテック株式会社	2		1		3
旭化成株式会社			1		1
岩田地崎建設株式会社				1	1
ANAラインメンテナンステクノクス株式会社	1				1
NTT東日本グループ会社〈エンジニア〉		1			1
榎本ビーエー株式会社	1				1
株式会社Mテック	1				1
オムロンフィールドエンジニアリング株式会社	1				1
花王株式会社 和歌山工場				1	1
株式会社カネカ			1		1
関東化学株式会社			1		1
京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社		1			1
株式会社クレオ	1				1
株式会社クレハ			1		1
国土交通省東北運輸局				1	1
国土交通省東北地方整備局				2	2
五洋建設株式会社				1	1
三洋化成工業株式会社			1		1
CTCテクノロジー株式会社		1			1
JXエルエヌジーサービス株式会社	1		1		2
JXエンジニアリング株式会社		1			1
JXTGエネルギー株式会社 中央技術研究所			1		1
JNCエンジニアリング株式会社		1		1	2
ジョンソンコントロールズ株式会社	1				1
SUBARUテクノ株式会社	1				1
住友化学株式会社三沢工場			1		1
株式会社銭高組				1	1
ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社		1			1
SOLIZE Engineering	1				1
第一三共プロファーマ株式会社			1		1
ダイキン工業株式会社		1	1		2
大日精化工業株式会社			1		1
株式会社太平洋コンサルタント			1		1
TANAKAホールディングス株式会社			1		1
株式会社中央エンジニアリング	1				1
中外製薬工業株式会社	1				1
中発テクノ株式会社			2		2
DIC株式会社			1		1
DMG森精機株式会社		2			2
株式会社デーリー東北新聞社			1	1	1
電源開発株式会社			1	1	1
東海旅客鉄道株式会社			2	2	2
東京ガス株式会社			1	1	1
東京水道サービス株式会社			1	1	1
東京電力ホールディングス株式会社			1	1	1
東芝メディカルシステムズ株式会社		1			1
東北電力株式会社				1	1
戸田建設株式会社				1	1
成田空港給油施設株式会社	1				1
日東電工株式会社 東北事業所			1		1
日本原燃株式会社		2	1		3
株式会社日本色材工業研究所			1		1
日本電子株式会社		1			1
日本放送協会		1			1
八戸市				2	2
八戸市民病院		1			1
八戸製錬株式会社 八戸製錬所	1		1		2

平成30年3月1日現在

就 職 先	M	E	C	Z	計
東日本高速道路株式会社				1	1
東日本旅客鉄道株式会社				1	1
ファナック株式会社	1				1
フジテック株式会社				1	1
丸善石油化学株式会社 千葉工場	1				1
三沢市				1	1
水上印刷株式会社	1				1
株式会社三井化学分析センター			1		1
三菱電機ビルテクノサービス株式会社	1	1			2
ムラテックCCS株式会社	1				1
メタウォーター株式会社		2			2
盛岡市				1	1
森永乳業株式会社 盛岡工場			1		1
山崎製パン株式会社			1		1
山田設備機工株式会社	1				1
和光純薬工業株式会社			1		1

【進学—本科】

進 学 先	M	E	C	Z	計
[大 学] 北海道大学		1		1	2
室蘭工業大学		1	2		3
弘前大学	1				1
岩手大学		2		1	3
長岡技術科学大学	1	2	2	2	7
筑波大学			1		1
宇都宮大学		1			1
東京農工大学			2		2
首都大学東京	1				1
横浜国立大学	1				1
京都工芸繊維大学			1		1
豊橋技術科学大学	1				1
姫路獨協大学			1		1
[専攻科] 函館工業高等専門学校		1	1		2
八戸工業高等専門学校	4	8	7	7	26

【就職—専攻科】

就 職 先	AM	AE	AC	AZ	計
NOK株式会社	1				1
エプソンアトミックス株式会社	1		1		2
花王株式会社 和歌山工場		1			1
国土交通省東京航空局				1	1
五洋建設株式会社				1	1
サクサシステムエンジニアリング株式会社		1			1
株式会社第一システムエンジニアリング	1				1
TANAKAホールディングス株式会社			1		1
中外製薬工業株式会社			1		1
DMG森精機株式会社	1				1
株式会社ナカニシ			1		1
日本原燃株式会社		1			1
日本精工株式会社	1				1
八戸市				1	1
株式会社ピーエス三菱				1	1
東日本旅客鉄道株式会社				1	1
三菱製紙株式会社 八戸工場	1				1

【進学—専攻科】

進 学 先	AM	AE	AC	AZ	計
北海道大学大学院		1	3		4
東北大学大学院	1	2	2	1	6
東京工業大学大学院	1		1		2

専攻科生 祝・修了

修了おめでとうございます

専攻科長 南 将人

専攻科修了おめでとうございます。本校専攻科は平成14年4月に開学し、第15回目の修了生を社会に送り出す事となりました。専攻科は、本科5年間で学んだ専門知識を基に、幅広く周辺知識を吸収し、豊かな人間性・創造性を身に付けた人材育成を目指しており、「連峰型創造性教育」と呼び本校の大きな特色となっています。フランスでの海外研修や地域企業や機関の支援を頂いたエンジニアリングデザイン等、挑戦的行動力に溢れた皆さんの活躍を祈念し、後輩への良い刺激・目標となった事に感謝します。また、7年間の学生時代に出会った教職員や友人、その他多くの人たちとの体験は貴重な財産となります。修了後は各自の道を進む事となりますが、本校で学んだ事に自信と誇りを持ち、学んだ知識を大いに活かして下さい。

最後に、保護者の皆様の御支援に感謝すると共に、皆さんのさらなる御活躍と御健勝を心から祈念して、お祝いに代えさせていただきます。

専攻科修了を迎えて

産業システム工学専攻 機械システムデザインコース2年 高橋 亜門
(階上町立階上中学校出身)

八戸高専専攻科に入学してからの2年間の生活が終わりを迎えようとしています。この2年間で多くの経験は、生涯忘れることのできないものとなりました。1年次の秋季には、約10日間の中国研修を行いました。時差による体調管理には苦労しましたが、中国の大学や会社を見学することで、中国の研究技術の高さを知ることができました。そしてこの中国研修で自分の研究に対する考えを見直すことができました。そして2年次の大学院受験では、高専の先生をはじめ多くの方々に助けていただきました。そのおかげで志望していた大学院にも合格することができました。

最後に、多くの先生や先輩、後輩そして2年間一緒に苦楽を共にした同級生に感謝申し上げます。ありがとうございました。この2年間の思い出を支えに頑張っていきたいと思います。

専攻科特別研究発表会表彰者

最優秀賞 特別研究を通して

産業システム工学専攻 マテリアル・バイオ工学コース2年 坂本 成美
(八戸市立白銀中学校出身)

この度は、特別研究発表において最優秀賞を頂きありがとうございました。

研究室に配属されたばかりの頃を振り返ると、私はあまり研究に一生懸命な学生でなかったと思います。周りの学生の懸命さや、先生方の真摯なご指導のおかげで、研究に真剣に取り組む楽しさや責任感を学びました。また、研究は一筋縄でいかず悩むこともありましたが、学生たちと悩みを共有することで絆を深めることが出来ました。特別研究を通して、たくさんの方々に支えられ、感謝する専攻科生活でした。

今回の受賞に胡坐をかくことなく、襟元を正す気持ちでまた頑張りたいと思います。

優秀賞 特別研究を通して

産業システム工学専攻 電気情報システム工学コース2年 佐藤 航大
(南部町立福地中学校出身)

このような賞を頂いたのも、常日頃から熱心にご指導してくださった佐々木先生をはじめとした先生方、苦楽を共にした研究室のみなさんやクラスメイトのおかげです。心から感謝申し上げます。

研究室に所属してからの3年間は、研究のみならず多方面において貴重な経験を積むことができました。失敗する場面も多々ありましたが、めげずに辛抱強く努力を重ねたことで、技術者としてだけでなく人間としても大きく成長できたと感じています。来年度からの大学院でも、三年間の研究を通して積み重ねてきた知識や経験を活かして、社会に貢献できるよう日々精進していきたいと思っています。

優秀賞 研究活動から学んだこと

産業システム工学専攻 環境都市・建築デザインコース2年 馬渡 大壮
(八戸市立三条中学校出身)

優秀賞をいただけたことを光榮に感じています。指導教員の先生方や研究室の仲間、アドバイスをくださった多くの先生方、ありがとうございました。3年間の研究活動は、自分を大きく成長させてくれたように感じます。専門分野の知識はもちろんのこと、チームワークや発表力、目上の方との接し方などを身に付けることができました。しかし、まだまだ学ぶべきことは山のようにあります。今後も、より一層の努力を重ねていきたいと思っています。そして、3年間の研究活動で学んだことを生かし、社会に貢献していきたいと思っています。ありがとうございました。

就職・進学体験記

就職活動体験記

物質工学科5年 高柳 佳季
(久慈市立長内中学校出身)

私は就職と進学どちらにするかとても悩みました。就職を決めたのは4年生の秋です。この時期、インターンシップに参加しました。そこで、将来働くということを強く意識すると同時に、社会に出てたくさんの経験を積みたいという思いから、就職を決断し、自己分析と企業研究を始めました。第1志望の企業を決める際は、主に将来の夢につながる、興味のある分野という点を考慮しました。就職活動が本格化し、履歴書や自己PRを書く際、あまり悩むことはありませんでした。十分な自己分析の成果だと思います。試験本番は、自己PRの作文と1時間程度の面接でした。どちらも良い緊張感で臨むことができました。

進路を決める過程で、不安や悩むことがあると思います。しかし、自分と向き合う良い機会であり、自分の将来を考える楽しい時間でもあります。そして、将来の選択肢を増やし、夢を諦めないためにも、今の時期の勉強はとても大事だと思います。頑張ってください。応援しています。

大学編入失敗記

機械工学科5年 中村 佑
(青森市立新城中学校出身)

私は金沢大学の編入試験を受け、見事玉砕しました！その後は弘前大学の編入試験を受け進学が確定しました。両大学とも受けた試験は口頭試問兼面接のみで、あとは学校での成績や情熱溢るる志望理由などで判断されますが、口頭試問の難易度自体にはあまり差はないように感じました。金沢大学で私が失敗した理由を簡単にまとめると思い込みと慣れです。金沢大学編入試験の情報が我が校にほとんどないためにインターネットを用いて情報収集をしたわけですが、そこで示されていた傾向と全く違う問題が出題され、緊張も相俟って頭が真っ白に…。問題は難しくない、しかし上手くりカバーできない、でも、やはり問題は難しくない。とても歯痒い思いをしながら金沢大学編入試験を終えました。

口頭試問を受ける皆さん、出題されるのは基本問題だ、簡単だ。自分を信じて頑張ってください。

専攻科進学について

建設環境工学科5年 今泉 尚也
(十和田市立四和中学校出身)

私は4年生の時から専攻科への進学を考えていました。学士を取得してから社会に出たいと考えていたので、経済的な面から専攻科へ進学することがベストであると考えました。専攻科のメリットとしては、5年次の卒業研究を継続して行うことができる、大学院進学の実績があることなどがあります。これらのことを加味して考えた末、専攻科進学を決意しました。幸いなことに推薦枠を頂けたので、本来受験勉強や就職活動をする時期に部活や研究に専念することができました。

専攻科受験を通して、TOEICの大切さを知りました。また、本科在学中に1つでもいいのでこれだけは誰にも負けないという事を見つけてください。それが、絶対自信へと繋がります。頑張ってください。応援しています！

最後に、支えてくださったすべての方々に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

大学院試験体験記

産業システム工学専攻
電気情報システム工学コース2年 林 賢志
(南部町立名川中学校出身)

私は東北大学大学院情報科学研究科推薦入学特別選抜試験を受験しました。大学院に進学するにあたり、初めにやるべきことは興味のある研究室への研究室訪問です。研究室訪問では、研究室の雰囲気や研究内容についてより詳しい情報を知ることができ、研究や進学への意欲が高まります。

私の推薦試験の内容は小論文を2題と面接でした。小論文は過去の試験を参考に念入りに対策を講じました。面接では現在行っている研究、大学院での研究についてまとめ、練習を行いました。これらは文章の添削には総合科学教育科の先生方、専門的な内容は電気情報工学科の先生方に何度も添削や練習をしていただきました。

私にとって大学院受験は、大学院に進みその後のようにしていきたいのか、またこれからの人生について深く考える良い機会だと感じました。大学院受験では苦勞もありますが学ぶことも多くあります。大学院進学を考えている方は自分自身の未来のために目標へ向けて頑張ってください。

退職するにあたって

高専がおもしろくなった

総合科学教育科教授 太田 徹

高専は、学業が重苦しくて、卒業してからはその努力が適切に評価されない、という嘆きの言葉が聞こえたし、いまでもそういう嘆きを語る人がいます。ただ、いまはその嘆きを大声で語る人もいれば、「そうでもないな」と心のどこかで思う人もいます。八戸高専が出来て半世紀たち、まわりの風景が変わりました。

では、どういう風にかわったのでしょうか。

ひとつはグローバル化が進みました。就職先は国内・国外を問わず英語が使えなければならなくなりました。八戸高専学生は、インターネットを介し、フィリピン人講師と一対一の英会話の授業を週に一回経験します。週一回の授業ではたいしてうまくありませんが、その一回を経験することによって自分でもっとがんばらなくてはと思うことが、進歩の差となります。そして英語力の差が社会では賃金の差に直結します。

もう一つは考える力です。世の中は、考える力がなくては上に登れない時代になりました。これは高専・大学・大学院卒を問いません。考える力の源は、「企画→実施→反省」を繰り返せることです。八戸高専は、自主探究という名前でそれを訓練しようとしています。

おもしろい時代になったのですが、私は定年退職します。これからは現場で、この二つの力が自分にあるかを試してみたいと思います。

感謝

総合科学教育科教授 鳴海 哲雄

平成2年に赴任してから、28年間勤めることになり、長いような、40年も勤務された先生から比べれば短いような、とにかく無事に終えられることに感謝申し上げます。実は、大学院修了の昭和54年に非常勤で1年間勤めたので、28+1年の勤務です。もともと高校の教員でしたので、まさか高専の教員になるとは思ってもありませんでした。数学を担当して感じたことは、当初高専生は能力の割に、勉強しない学生が多いと感じていました。特に景気がよく「就職」が容易な時期はそうでした。その中で、大学への編入を希望する学生が、

教員室を訪れて一緒に「過去問」を解いたりしたのがよい思い出です。数学の授業も本科の数学だけでなく専攻科の1、2年生まで担当できたことにも感謝申し上げます。校務で担任を12年間、そのうち23の担任をやったのもおもしろい経験でした。学生主事時代の3年間は、色々ありすぎて、日頃の行いの悪さ、人徳のなさにより運から見放されたように感じたこともあり大変でした。ただ、学生達が頑張って全国大会等に進み、八戸高専を盛り上げてくれたことが最高の幸せでした。4学期制は、いまだに毀誉褒貶が付きまとっているのには心が痛みます。早めに落ち着くことを願っています。

これまで本当にありがとうございました。

とても充実した12年間でした

総合科学教育科教授 館野 安夫

平成18年4月に赴任してから、あつという間の12年間でした。教育の現場は、それまでの職場とは大きく異なり、戸惑うことが多かったのですが、良い刺激を受けることができました。企業エンジニアとしてのキャリアの確認として、教員公募にチャレンジしたのが転職のきっかけでした。このような私のキャリアを教育活動に生かすことが、八戸高専での私の使命と考えて学生と接してきました。できるだけ学生と語り合う機会を増やすよう心がけました。幸いにも、多くのすばらしい学生と出会うことができました。打てば響くような学生を前にして、身の引き締まる思いでした。このような学生にふさわしい授業を実現すべく、準備には十分に時間をかけてきたつもりですが、時には冷や汗をかくような場面もありました。優秀でやさしい学生達に助けられたような気がしています。学生に育てられたと言った方が良いのかもしれない。とても充実した、とても幸せな12年間でした。学生には感謝です。

4月からは仙台高専（名取キャンパス）にお世話になる予定です。八戸高専で積み重ねた新しいキャリアを、仙台高専での教育活動に活かしたいと考えています。楽しみです。

八戸高専の教員、職員の皆様、また学生諸君、保護者の皆様には心から感謝いたします。ありがとうございました。

一番の印象

総務課課長補佐（総務担当） 鳥谷部容市

昭和51年9月に山形大学に採用になり、昭和56年4月に八戸高専に転任、以来、この3月で37年間本校にお世話になることになります。

この間、事務職員としていろいろな業務を担当しましたが、一番の印象はやはりCOBOLです。私が八戸高専に来た当時は、文部省（現在の文部科学省）がちょうど給与計算の電算化を進めていた時で、そのプログラム言語がCOBOLでした。当時は多くの事務職員がCOBOLの研修に行きました。特に給与事務を担当した自分は、東北大学に三ヶ月間、文部省に六ヶ月間の併任を命じられてCOBOLの研修に行きました。

今は、停電なんかでパソコンが使えなければ仕事が進まない状況（時代）になりましたが、当時の自分にとってのコンピュータというのは、大きな機械の中で磁気テープがぐるぐる回っているSF映画の中のものでしたので、プログラミングという未知の世界にはかなり戸惑いました。そんな苦勞をして覚えたCOBOLでしたが、現在は全く仕事には使いません。あの苦勞はいったい何だったんだろうと思う時がありますが、当時一緒に併任としてCOBOLの研修をした仲間とは今でも年に一度の交流があり、三十数年間の付き合いとなりました。

今では、IDENTIFICATION DIVISIONしか覚えていないCOBOLですが、一番の印象です。

学校生活42年

学生課課長補佐 上村 昌靖

昭和51年3月8日私の社会人としての第一歩が八戸高専でスタートしました。卒業式から数えて5日後です。当時の愛読書「リーダーズダイジェスト」を読破するには不十分な期間でした。

高校時代軟式野球をやっていたものの、社会人になったらやめようと思っておりましたが、先輩の勧めで教職員野球部に入りました。役職？会計、マネージャー、その後キャプテンを10年ほど勤めた頃に弘前大学へ人事交流で2年間転勤となりましたが、その間職員野球部は自然消滅してしまいました。田面木野球リーグ戦とか新聞社や自動車関係の企業が主催する大会に出ており、単独チームとして3回戦に進出することもありました。

自分で野球をすることも無くなった頃、今度は学生の夏の高校野球の応援に、青森まで年休を取ってまで応援に出かけたものです。

それが、定年前に学生たちが頑張ってくれて、

あわや甲子園に連れて行ってくれるかと期待していましたが、惜しくもかないませんでしたので最後に一人で阪神地区まで卒業旅行をしてきました。寄附金儲かった……儲からないように連れて行ってください。

学生達の活躍は、新聞を切り抜きして担任を通じてクラスに配付してきました。

皆さんが活躍してくれることを、いつでも待ってま～す。

いつまでも応援しています

総務課課長補佐（職員担当） 石川 正子

八戸高専に、特に好きな場所が二つあります。

一つは、都市建築コース棟に続く渡り廊下です。遠い昔、土木工学科の学科事務室職員として採用されました。季節は幾度も繰り返しましたが、旧土木工学棟に向かうたびに、今でも「その方向」にときめきと懐かしさを覚えます。若いばかりで仕事は全く半人前だった私は、あの頃の心優しき教官・技官の皆様大変お世話になりました。私にとって、社会人スタートの思い出の場所です。

もう一つの場所は、パソコン室から図書館に降る階段途中、図書館交流室に学生が活動する姿が見える場所です。図書館職員として大きなプロジェクトに2度関わりました。プログラム西暦2000年問題に世間が大騒ぎしていた1999年、図書館システム更新を担当していました。システムに詳しい教員、またメーカーSEさんと打合せを重ねながらの作業でしたが、その時の経験から仕事の達成感を知ることができ、こんなにも長く勤務できるきっかけになったと思っています。

その後、2013年秋には図書館改修工事がスタートしましたが、学術情報係長として関わりました。事務職員の立場から、八戸高専図書館にラーニングコモンズを開設させたいという思いを提案することができ、現図書館のデザインに反映させていただきました。図書館に向かう階段途中、私にとっての定点は、再スタートへの勇気をあと押ししてくれる場所でもあります。

先輩からは丁寧にご指導いただき、後輩にはしっかり支えられて、気がついたら定年まで辿り着いていたという思いです。お世話になりました教職員の皆様、短期間のご縁でしたが一緒に働いた事務補佐員の方々にも心より感謝しております。

何よりも八戸高専の主役である学生の皆さん！皆さんには限りない可能性とエネルギーをいただき毎日が本当に楽しかったです。

ありがとうございました。

これからも、いつまでも応援しています。

お世話になりありがとうございました

保健室 看護師 榎本 恭子

平成24年10月から勤務させていただき、5年半という短い期間でしたが、様々な生き方をしている学生さんや教職員の方々とともに過ごさせていただき、私自身の人生の勉強になった日々でした。

高専祭、校内体育大会、球技大会、東北地区高専体育大会（バスケットやハンドボールの全国大会も）、ロボコン東北地区大会等々の学校行事で学生さんの活躍や教職員の方々の仕事を、救護班としてお手伝いしながら拝見させていただき、高専における学校教育の幅広さを感じました。

ようやく八戸高専での学校生活や自分の仕事の流れがつかめてきたところで退職というのはとても残念です。学生さんたちともう少し頻回にお話をできたら、そして何か一緒にできたらよかったです。

荷物を運んでいたら、「持ちますよ！」と手を

貸してくれた学生さんたちへ、「ありがとうございました。」健康診断のお手伝いをしてくれた学生さんたちへ、「毎年、クラスメートを手助けしてくれてありがとうございました。」具合が悪い学生さんを病院に連れて行ってくださった先生方へ、「お忙しい中、病院搬送をどうもありがとうございました。」

最後に、学生のみなさん、保護者の皆様、教職員の皆様、お世話になりありがとうございました。今後の皆様のご躍進を祈っております。



新任教職員紹介

①氏名 ③所属・職名
②出身地 ④前職

- ①古川 琢磨
- ②青森県・五所川原市
- ③機械システムデザインコース 助教
- ④東北大学流体科学研究所

昨年の12月1日から本校の機械システムデザインコース助教に着任しました。古川琢磨と申します。

八戸高専に着任して約二ヶ月経ちますが、挨拶を積極的にされる学生さんが非常に多い印象を受け、毎日気持ちよく通勤させて頂いております。また前職の大学とは比較しても教員と学生の距離感が非常に近いと感じており、より研究教育の色が近い場であると考えております。

教育経験の浅い未熟者ではありますが、研究室での研究活動や、講義を通じて学生と密な関係を構築していきたいと考えています。そのために、主体的に学生が考えられる場を提供することを軸として教育活動を行っていきたくと考えております。

まだ慣れていない部分が多々ありますが、学生の皆さんと共に成長していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

- ①金 善旭（キム ソンウク）
- ②韓国ソウル
- ③環境都市・建築デザインコース 准教授
- ④独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所

1月1日付で環境都市・建築デザインコースに着任いたしました金と申します。出身は韓国ソウルで、学部から建築を専攻しており、修士と博士課程を日本で修了いたしました。建築分野の中で専門としているのは建築構法と生産です。研究テーマは建築をどのようにつくるかで、そこには誰がつくるか、何を使ってつくるか、どのように組み立てるか、などが含まれております。

教育においては知識の伝達が最も重要ですが、自身で成果を挙げる責任とその成果を発表という形で人に伝えることが社会でも役立つことであると思いますので、その点に主眼をおいて指導していきたいと思っております。また、学生の創造力を涵養させるために、問題の発見とその解決に取り組む習慣を身につけてもらえるように心がけたいと思っております。

教育の面でも、生活の面でもまだまだ不慣れなところが多く、皆様にご迷惑をおかけするかと思っておりますが、何卒宜しくお願いいたします。

- ①吉田 太祐
- ②青森県青森市
- ③学生課 学生係
- ④青森市役所 経済部交流推進課港湾空港チーム
臨時職員

昨年10月1日付で本校の学生課学生係に着任いたしました吉田と申します。

八戸高専に着任して約4ヶ月経ちますが、教育の現場に携わるのが初めてということもあり、職場では手探りで右往左往する日々で、まわりの方々に色々と助けていただいていますので、できるだけ早く、高専の職員として馴染めるよう努力して参りたいと思います。

まだまだ未熟者ではありますが、少しでも学生の皆様の学校生活をサポートしていけるように、教職員の皆様から良い刺激を吸収し、着実に成長していこうと思っています。

不慣れな面が数多くあり、皆様には何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

- ①高橋 啓
- ②宮城県仙台市
- ③総務課調達・施設係
- ④仙建工業株式会社 盛岡支店

1月1日付けで調達・施設係に配属になりました高橋と申します。前職では、建設会社に所属し、岩手県内で工事監督をしていました。八戸高専に来てまだ間もないですが、校内の雰囲気が非常に賑やかでとてもいい印象を持ちました。

調達・施設係ということで学生や教員の方と直接に交流する機会はなかなか無いと思いますが、施設系の技術職員として高専施設の維持管理を行い、学生や教員が研究・勉強しやすい環境を整備していきたいと思っています。

仕事では不慣れな点も多くいろいろと経験を積ませていただいているところです。今後も皆様方にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、早く仕事を覚えられるように努力していきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

インターンシップ

機械工学科4年 軽米 健成
(八戸市立下長中学校出身)

私は三菱重工業株式会社 総合研究所 長崎地区に10日間お世話になりました。初日にオリエンテーション、2日目は研究施設・工場・資料館の見学、3日目以降は各自のテーマについて実習を行っていくという流れでした。実習場所は社員の方々が研究を行っているところだったので、実際の開発現場を見ることができ、とても貴重な経験でした。また、研究施設と工場の見学では、その規模の大きさに驚かされました。私はインターンシップを通じて、自ら課題を見つけ、それを解決する力を身につけておくことの重要性を学びました。実習で、装置の改善案を考えなければならないときに、どのようにすればより良いものができるかをイメージできなければ、製品の性能や品質の向上に繋がらず、結果として企業に負担になってしまいます。そのため、自分の業務に目標を定め、筋道を立てて作業することが重要であると思いました。また、積極的に意見を言い、さらにコミュニケーションを図ることの大切さも学びました。インターンを通して、私には発想力と忍耐力、コミュニケーション能力の改善が必要不可欠だと実感しました。また、研修中の昼食や、研修後の社員寮の生活などで、他大学・高専の方々と親睦を深め、大変充実した研修期間を過ごせました。

インターンシップに参加して学ばせていただいた多くのことは、貴重な財産となりました。この経験を今後の生活に生かしていきたいと思っています。

見学旅行

機械工学科4年 向山いずみ
(五戸町立五戸中学校出身)

私たち機械工学科は横浜を中心に様々な企業の見学をさせていただきました。会社の中や工場で実際に従業員の皆様が働かれているところを間近で見させていただきお話を聞くことで、どんな仕事なのか、働く上で何が必要なのか、など多くのことを学ぶことができました。また、八戸高専のOBの方のお話を聞くことができる場面もあり、より具体的に将来について考えることができました。

見学旅行の中でも、東京モーターショーの見学はとても印象深いです。現在の自動車の最新の技術を、環境や安全性や利便性、ショーとしての娯楽性も含めて様々な観点から体感できる貴重な機会で、楽しいだけでなくとても勉強になる良い経験となりました。

今回の見学旅行では、学生1人ひとりが責任のある行動を意識できたためか、事故や問題も起こらず、充実したものとなったと思います。この見学旅行で得られたものを、思い出とするだけでなく、しっかり今後に繋げられるように頑張っていきたいと思っています。

新しい4学期制が始まります

教務主事 武尾 文雄

本校が4学期制を導入して3年。自主探究学習等を通じて多くの成果を上げています。その一方で、夏学期と冬学期の間の長期に渡る学習習慣の中断や、学修単位科目の増加による演習時間の不足などに起因する基礎学力の未定着傾向、秋学期における学生の安否状況把握の困難など、いくつかの課題も見えてきました。また秋学期の過ごし方に関して保護者の方々からのご意見もいただいています。

そこでこの1年、自主探究学習を一層充実しつつ上記の課題を解決するための方策を、ワーキンググループや教務委員会で検討し、来年度から実施することになりました。以下にその主な点をお知らせします。

1. 秋学期は毎日出校

秋学期の1・2校時に、1～3学年は新設の演習科目、4・5学年は通常科目の授業を行います。3・4校時の一部は選択科目の授業、その他の時間も6校時まで自主探究のプログラムが組みられ、全員が毎日出校することになります。

2. 基礎演習科目の新設

1～3学年の秋学期に後述の数学・物理と英語の演習科目（計6単位）を、4・5学年に専門の演習を中心とする科目（計2単位）を新設し、基礎学力の向上を図ります。なお専門演習科目新設に伴い、共通専門科目（4学年）の履修単位数を4から2に変更します。

3. 秋学期の授業

2～3月の発展学習期間を廃止し、この間に実施していた発展学習選択科目（以下、発展科目と略記）の合計12単位（H30年度以降入学生は7単位）を「秋学期集中演習科目」として秋学期に開講します。

（1）集中数理演習と集中英語演習

発展科目の数学、物理、英語、計6単位分を1～3学年に「集中数理演習(I～Ⅲ)」、「集中英語演習(I～Ⅲ)」各1単位として開講します。主要基礎科目である数学、物理、英語の演習を行うことにより、学習習慣の継続と基礎学力の向上を図

るものです。同科目は、1～3学年を混合して学力レベルに合わせたクラス編成で実施し、成績は出席を重点にマーク試験による相対的な伸び率等を加味して評価する予定です。

発展科目の単位を充てた形のため在校生については選択科目の枠となっていますが、H30年度以降入学生については必修科目とし、さらに実験・実習等と同様に進級に直接関わる重要な科目として位置づけています。したがって在校生についても必ず履修し単位を修得するよう指導します。なお、海外自主探究や校外での自主探究活動を行う場合には、保護者の同意と担当教員の許可を得て「公欠」の扱いとします。

（2）その他の秋学期集中演習科目

発展科目12単位のうち残りの6単位分については、数学、国語、社会、専門コース演習などこれまでとほぼ同様の内容のものを、秋学期の3・4校時に選択科目として開講します。したがって、開講形態はやや変わりますが、在学中に履修できる合計の単位数はこれまでと変わりません。なお、H30年度以降入学生の選択科目は数学の1単位のみとなります。

（3）秋学期集中演習科目の取り扱い

（1）、（2）で述べた科目の成績については、これまでの発展科目と同様、席次を決定するための成績には加味されません。ただし欠課時数は加算されます。

発展科目の単位は進級した学年の春学期に認定されますが、秋学期に開講される上記の科目の単位は、履修した学年の冬学期末に認定されます。したがってH30年度は、前学年で履修した発展科目の単位と30年度に履修した秋学期集中演習科目の単位が同一の学年で認定されることとなります。また単位認定の時期が変わることにより、H29年度末まで実施される「発展学習選択科目を含めた進級判定」の制度はH30年度から廃止されます。

4. 行事予定の変更

自主探究のテーマ決定を夏季休業前に行うため、春・夏学期に各2日間の「自主探究Day」を導入します。これにより夏学期到達度試験は今年度よりやや遅くなります。9月には海外研修やインターンシップが多いことから、夏季休業を9月末までとしています。学年修了式は2月末となり、発展学習期間は無くなります。

厚生補導委員会より

学生主事 河村 信治

H29年度下半期の厚生補導関係の話題です。

◆第51回高専祭

「意気翔天～天まで一気に駆け上がれ！～」のテーマで、第51回高専祭が10月14日（土）～15日（日）に開催されました。高専祭実行委員長によれば、意気衝天の“衝”を“翔”に変換したのは、一時の勢いではなく、未来へ向けて翔けていく、という意が込められているとのこと。期間中は穏やかな天候にも恵まれ、大きなトラブルもなく順調な開催だったといえます。秋学期中にさまざまな課題と取り組みながら、中心となって準備を進めてくれた高専祭実行委員の皆さん、たいへんおつかれさまでした。今回残念だったのは、打上げ花火の規制が厳しくなり、最終日恒例となっていた花火の実施を断念せざるをえなかったことでした。近隣住民の方からも惜しまれる声がありましたが、いずれにせよ昨年度まで続けてきたような形で花火を行うことは今後できません。学生主事としては、花火に代わる新たな、そして外注でなく手造りの、高専祭の伝統となるような「目玉」イベントの創造を期待して、高専祭実行委員会と厚生補導委員とで協議していきたいと考えます。また来年度、夏季休業と秋学期期間、行事日程が大きく変わります。高専祭の準備は夏前から早めにスタートしてください。

◆学生会新執行部始動

11月30日に学生会長選挙が実施され、信任投票の結果Z 4山本凌君が新学生会長に選出されました。12月1日より新会長の下、新たな学生会執行部体制が始動しています。E 5浪岡君はじめ前執行部のみなさんお疲れさまでした。そして新執行部のみなさん、現在高専の変わり目で、学校と学生会と一緒に取り組まなければならない課題がいろいろありますので、よろしくお願いします。

◆保健室等の移設

福利厚生会館2階にあった保健室が、今1月か

らゼミ棟1階に移設されました。これに伴って、ゼミ棟にあった学生会室が福利厚生会館へ、男子ロッカー室はゼミ棟向かいの課外活動施設に男子更衣室として移動。また第1～4ゼミ室、サークル共用室等の場所と呼称も変更になっていますので、混乱しないようご注意ください。

◆クラブ活動関係

文武両道を旨とする本校で、野球部が秋季県大会で準決勝進出の大健闘を見せてくれたほか、本校学生諸君の課外活動や研究での活躍ぶりには目を瞠るものがありました。

一方で今年正月早々、文科省が「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（案）を発表しました。これは主に中学校を対象としたものですが、基本的な考え方は高校段階でも該当し、これを可能な限り準用して改革に取り組むよう示されています。本校でもこうした指針を参考に、クラブ活動に係る活動方針と課外活動の諸規則をあらためて整備していく必要があります。とくに運動部活動における休養日や活動時間の設定等については、すでに本校でも検討を始めていた課題でもあり、H30年度からルール化していきたいと考えています。また、合宿に関しても、利用施設、管理体制、期間、費用等の面から見直しを進めてきましたが、現状に合わなくなった規則についても改正してまいります。

◆生活指導関係

本校の第1～3学年の学生は制服を着用する規則（H29年度学生便覧p.142、183参照）があります。——とあえていわなければならないのは、寮からジャージ姿で教室に出てくるような、服装や身だしなみへの意識の低さが感じられる例がしばしば見られるからです。高専は、社会人の出入りも多く、一般高校等に比べてはるかに公共性が高い場です。また最近は学生自身が、地域社会や国際社会との交流機会が増えてきています。そのような状況の下で、「挨拶」や「コミュニケーション」とならんで、制服、あるいはTPOやドレスコード（服装規定）といったことの意味について、あらためて学生の皆さんに考えてもらい、意識を高めてもらいたいと思っています。

北 辰 寮 か ら

今年度の北辰寮

寮務主事 中村 重人

今年度、北辰寮では、寮生の生活環境の向上をめざし種々の変革をいたしました。まず、女子学生の入寮希望者が増え、S・B棟だけでは足りなくなったため、N棟を臨時に女子棟に変更しました。セキュリティ面での改装を施しましたが、まだシャワー設備等が整わずご不便をおかけしています。また、これに伴い、学寮保健室はE棟1階に移動しました。昨年度に物件紛失（盗難等）が多発したことを受け、1年生の男子新入寮生に個人用小型ロッカー（貴重品入れ）を貸与しました。ガスレンジ（火気）の利用を減らすという防災上、および利便性の観点から補食室へ電気ケトルを設置、さらに、かねてより熱望されていた冷蔵庫を男子寮の各補食室に設置しました。今のところ適正に利用されているようです。

ソフト面では、寮生の週末の外泊願について、外泊申請名簿に自分または指導寮生が記入することで手続きを簡略化しました。防災訓練の避難場所を赤レンガ広場から本来の避難場所であるグラウンドに変更し、時間を夜間から安全のため夕方に変更しました。同時に防災マニュアルの見直しを行い、全居室に掲示しました。一方で、経費削減や教員の業務負担の軽減のため、宿直を教員1名、外部委託の担当者1名としました。できるだけ寮生活に影響の出ないよう業務内容を見直しましたのでご了承願います。

一方、今年度は男子学生の特等寮制が廃止されて男子の入寮者が減少するなどの影響で学寮の収入が減ったのですが、恒常的にかかる支出はそれほど減らず、さらに、この冬には重油、ガスの単価が上昇し風呂や暖房などへの支出がかさみ、苦しい運営となりました。ここ数年、寮生数が徐々に減少している中で寮費を据え置いて運営をしてまいりましたが、これ以上は寮生活への影響が出るおそれがあります。そこで、次年度は寮費の増額を検討しております。北辰寮が寮生にとって住み

やすい環境となるようこれからも努めてまいりますので、ご理解、ご協力下さいますようよろしくお願い申し上げます。

新総代あいさつ

建設環境工学科 4 年 菅原 和也
(八戸市立北稜中学校出身)

皆さん、初めまして。八戸工業高等専門学校北辰寮総代の菅原和也です。総代選挙の際は、多くの寮生に信任していただき大変感謝しています。

学寮では、親元を離れ、同学年や先輩たちと共同生活をし、自分のことを自ら行います。これは、実に貴重な体験です。学寮に入ることによって新たな友好関係が築け、人間として成長できます。寮ではいくつかのイベントがあり、例えば寮内体育大会では、同じフロアの人達とスポーツで青春の汗を流せます。学寮でしかできない経験は将来必ず役に立つと思います。

今年度、北辰寮ではN棟が女子寮になったことや、寮食を食べる際にバーコード認証を行うなど、今まで以上に大きな変化をしました。また、男子棟全フロアに冷蔵庫を設置するなど、より快適な寮生活を過ごせるようになりました。このような変化の中でも、寮内の活動や行事において、寮生全員の協力のもと例年通り実施することができました。

来年度は、挨拶の励行、清掃活動・寮内行事への積極的な参加など、活気ある寮生活にしたいと思っています。また、寮生会の活発化を図るために、寮内での新行事の企画や、さらに快適な寮生活を送るために新たな設備の導入などを考えたいと思います。そのために、寮生の声などを通じて、寮生からの多くの要望を聞かせて頂き、寮生が主体となった寮運営をしていきたいと考えています。

皆さんの協力で今よりももっと快適で楽しい寮を築き上げ、寮生一人一人が活発に寮生活を送れるように頑張っていこうと思います。共に協力してより良い北辰寮にしていきたいと思います。

平成29年度
第3回自主探究ポスター発表会
第2回自主探究-卒業研究連携ポスター発表会

4 学期制実施部会 高橋 要

平成29年11月7-9日の3日間に1-3年生の自主探究ポスター発表会が、そして11月10日には4-5年生の自主探究-卒業研究連携ポスター発表会が、本校体育館にて開催されました。

今年度から1-3年生のポスター発表には「1分間プレゼンテーション」が導入され、各学年とも午前中に2会場に分かれて、審査員や一般来場者に各自のポスターをアピールしました。

また、今年度から投票による審査に加えて、ポスター発表活動に単位を認定するための成績評価も同時に行われることになったため、学生たちは一層の緊張感をもって発表に望んでいました。

昨年、一昨年に続き、今年度も文部科学省審議官 松尾泰樹様、高等専門学校機構理事 紀聖治様はじめ他高専からの4名の校長先生を含む18名の方々を特別審査員として迎え、また、昨年より100名以上多い延べ913名の方がご来場くださり、投票していただきました。

以下に、両ポスター発表会の上位入賞者を掲載します。

<校長賞>

Z3-04 荒屋 桜 (第3学年最優秀賞、審査員特別賞も同時受賞)

<第1学年 最優秀賞>

L1-11 大友 玄

<第1学年 優秀賞>

L3-22 春日 朋佳 (審査員特別賞)

L3-28 畑山 彩華 (審査員特別賞)

L1-21 狛守 愛優

L2-07 平 詠輝

L2-16 長倉 春彦

L3-10 山田 翔英

L3-37 中居 由佳 (審査員特別賞)

L4-31 大矢 桃花

L2-40 藤田 峻輔

L3-15 武田 浩季

<第1学年 審査員特別賞>

L2-06 西館 来夢

<第2学年 最優秀賞>

Z2-37 森田 菜々子

<第2学年 優秀賞>

C2-20 千葉 史瑛

C2-21 中嶋 まい (審査員特別賞)

E2-15 北山 歩美

M2-39 柳沢 啓斗

Z2-17 佐々木 駿

E2-05 上野 陸斗

E2-40 山崎 葵生

C2-06 蛭名 優花

E2-22 沢井 一将

Z2-05 石田 嶺峰

<第3学年 優秀賞>

E3-19 津内口夕奈 (審査員特別賞2つ)

C3-08 京谷 悠里

M3-07 上野 晴奈

E3-30 堀畑 舞雪

C3-18 高村 杏佳

M3-24 中村 結花

Z3-31 中村 晴菜

C3-01 秋元日菜子

M3-05 井上 芽維

E3-25 中村 祐太 (審査員特別賞)

C3-19 立花 呼人

<第4学年 奨励賞>

M4-08 軽米 健成

M4-13 黒澤 俊祐

M4-29 奈良 陽海

E4-27 尾崎 大地

E4-41 西本 智哉

C4-04 日下部由伊

C4-16 館山 奈実

C4-46 米内佳奈子

Z4-09 川村 未歩

Z4-37 山本 凌

M4-30 西館 嗣海

M4-18 清水川恵大

E4-11 佐々木祐哉

E4-33 坂本 修平

E4-45 山田 健人

C4-12 佐々木智帆

C4-45 横浜 希

Z4-03 大沢 光司

Z4-25 橋本 龍

<第5学年 奨励賞>

M5-02 一郷 颯馬

M5-28 曲田 航平

M5-27 程熊 幸佑

E5-18 松元ほの香

E5-12 出貝 綸規

C5-27 プ ト リ

C5-35 関 淑楓

C5-41 成田 千春

Z5-21 酒井 大誠

Z5-23 澤田 真吾

M5-19 中村 佑

M5-32 安村 祐哉

E5-02 長内 嵩明

E5-10 武田 一希

E5-26 小清水麻衣

C5-34 新毛 実結

C5-44 前川 由貴

Z5-05 今泉 尚也

Z5-32 粒来真優子

平成29年度 国際交流活動

国際交流センター長 阿部 恵

平成29年度、海外の連携校との交流を推進し、海外インターンシップ・海外研修プログラムでは、フランスほか9ヶ国に合計70名（内3名は2ヶ国に派遣）の学生を派遣して、研究プロジェクトや海外自主探究や異文化交流活動を行い、フランスとマレーシアから合計15名の学生を受け入れました。この他に、グローバルリーダーシップを備えた人材育成にも力を入れています。多様な文化や異なる価値観をもつメンバーをリードして活躍できるよう「異文化コミュニケーションワークショップ」（12月）と「グローバル・セミナー」（3月）を実施しました。学生たちは国際交流活動を通して、多角的、多面的な物事の見方や考え方を理解することにより、大きく成長していると感じています。

今年度も本校は国立高専の第一ブロックのグローバル高専拠点校として2年目の活動を行いました。グローバル高専事業は、世界に通用する技術者の育成を目指し、他高専にもグローバル教育事業を展開するプログラムです。このプログラムでは、グローバルリーダーシップを備えた人材育成に向けて、多様な文化や異なる価値観をもつメンバーをリードして活躍できるよう、シンガポールのテマセクポリテクニクから教員を招聘して学生や教職員対象に「異文化コミュニケーションワークショップ」（12月）を開催したほか、「グローバル・セミナー」（3月）を学生対象に実施しました。また、英語力向上に向けて、「オンライン英会話」（マンツーマン）を学生対象に実施しました。

学生のグローバル力やリーダーシップ力向上の他に、教職員のグローバル教育力向上にも力を入れています。米国アリゾナ大学で「英語で授業するための研修」（第一ブロック高専の教員対象、2月～3月）を実施し、「オンライン英会話」の受講、「異文化理解ワークショップ」（3月仙台）を他高専にも展開しています。今後、グローバル高専の拠点校として、さらに国際交流活動を拡大していく予定です。

平成29年度から本校は高専機構が進める高専（KOSEN）海外展開事業におけるモンゴル協力支援校に任命されました。都城高専を幹事校とし、他の協力支援校とモンゴルの3高専へカリキュラムの構築、教員の研修、学生への実験の指導、実験機材の整備、インターンシップ等の支援を実施していきます。

平成29年度 学生受入・派遣実績

	日 程	交流国・大学等名	参加学年	人数	期 間	奨学金等
学 生 受 入	4/6-6/30 11/1/-1/29	フランス リール A 技術短期大学 他		4 1	約3ヶ月	JASSO 奨学金 80,000 円/月
	3/11-3/18	マレーシア マラ工科大学		10	8 日間	JASSO 奨学金 80,000 円/月
	8/7-8/18	アメリカ ウェナッチバレーカレッジ	本 科 3 年	2	12 日間	
学 生 派 遣	8/20-9/10	モンゴル 新モンゴル高専	本 1 ～ 4 年	7 5	約3週間	県補助金 60,000 円
	8/23-9/10	ニュージーランド オタゴポリテクニク	本 科 3 年	2	19 日間	
	8/28-9/9	中国 大連東軟信息学院	本 科 5 年	2	約2週間	
	9/10-9/19	シンガポール リパブリックポリテクニク	専攻科1年	1	約1週間	JASSO 奨学金 80,000 円/月
	9/13-9/28	シンガポール テマセクポリテクニク	本 1 ～ 5 年	18 7 5	約2週間	県補助金 60,000 円 JASSO 100,000 円
	9/6-11/30 1/9-3/20	フランス リール A 技術短期大学 他	専攻科1年	9 2	約3ヶ月	JASSO 奨学金 80,000 円/月
	8/18-8/28	フィンランド トゥルク応用科学大学	専攻科1年	2	10 日間	
	9/29-11/3	フィンランド トゥルク応用科学大学	専攻科1年	1	約3ヶ月	JASSO 奨学金 80,000 円/月
	10/2-11/10	ニュージーランド オタゴポリテクニク	専攻科1年	2 1	約1.5ヶ月	JASSO 70,000 円 トビタテ 120,000 円
	10/14-10/23	中国 大連交通大学、大連理工大学	専攻科1年	3	10 日間	
	11/19-3/15	オーストラリア オーストラリア国立大学	専攻科1年	1	約4ヶ月	トビタテ! 留学 JAPAN 120,000 円/月



海外インターンシップ、海外留学、異文化交流などを旨とする学生のために、返還不要の海外留学奨学金プログラムがあります。

留学生報告

国際交流センター 副センター長 太田 徹

本年度新規長期留学生は、3年生に、国費留学生1名としてマテリアル・バイオ工学Nengchue Oudomohone（ポーン）、マレーシア政府派遣2名として同コースのDaniel Issac Louroes（デニエル）と環境都市・建築デザインコースのNue Diyana Binti Ibrahim（ディヤナ）が編入学した。短期留学生としてフランスから4月に4人、11月に1名がそれぞれ3か月本校に滞在した。

本年度の主な行事は、4月に弘前城観桜会、6月と1月にフランス人研究発表、10月に青森県留学生ジャンボリーがあった。本校が主催したジャンボリーでは、青森県の40数名の学生が種差少年自然の家で、せんべい・ハロウィーン用カボチャを作り、また風雨の中を種差から葦毛崎間を歩いた。

本校では自主探究学習を3年前から始めたが、今年は海外展開をし、モンゴルとシンガポールに約40名あまりを2～3週間派遣した。その際、長期留学生が力になった。海外自主探究は、1-2

年目にまず留学生に自主探究を故国でやってもらいその様子を観察し、3年目になり日本人学生を連れていった。渡航約半年前から、故国ではどんな問題が持ち上がっているのか、それに対しどんなことを企画できるのか、教員と現地教員のコミュニケーション、現地サポートなど留学生が補助要員として有効なパートナーであることを示した。



フランス人留学生は3か月の滞在を無難にこなしている。日本からフランスへ行く学生も研究のやり方を学んできている。日仏の間で安定した関係が期待できる。

今年はモリス教員が留学生担当として加わり、馬場教員がフランス学生対応として仕事にあたった。今年度で太田教員が定年退職である。

なりたいものになろう

男女共同参画委員長 戸田山みどり

男女共同参画委員会の今年度の大きな進歩は、八戸高専のホームページに「男女共同参画」のサイトを設けたことです。したがって、委員会主催のさまざまな活動の詳しい内容はホームページでご確認いただくことができるようになりました。

主要な活動としては、今年度も学生対象に弘前大学、岩手大学のオープンキャンパスに参加したほか、青森県産業技術センター弘前地域研究所ではOGのお話をうかがうことができました。また2月には八戸地域の職場訪問を実施しています。いっぽう、教員対象としては、9月に弘前、10月に盛岡、3月には本校で青森県・岩手県の女性研究者による研究報告会が開催の運びとなっています。また、2月と3月には学生、教職員、一般の方を対象に、女性研究者をお招きしてロール・モデル講演会を開催しました。

今年度も、自主探究や卒業研究での女子学生の活躍はめざましいものがあり、12月には大阪で開

催された高専女子フォーラムin関西で2組の女子学生がポスター発表を行ったほか、3月には仙台で開催される北海道・東北地区高専女子フォーラムにおいて、自主探究で受賞している女子学生11名が、自主探究の成果と、それぞれの高専での生活について発表しました。

毎回ご紹介していることですが、八戸高専は女子の在籍率が3割前後と、平均20%程度の全国の高専のなかでは最も高いほうに含まれます。日本の産業界が自負してきた「ものづくり」産業では、現在、多様な視点の導入による新たなイノベーションへの体制づくりが急務となっていますが、残念なことに工学を専攻する大学院生のうち女子の比率は約12%にすぎません。これは主要先進国の平均30%程度に対して、非常に低い数字であると言えます。幸い、ここ数年、本校の女子学生の進学率は男子とほぼ同じ程度となり、また、専攻科や大学を経て大学院へ進学する例も増えつつあります。自主探究や卒業研究を通して、より多くの女子学生が研究の楽しさを知り研究者をめざしてもらえるように後押しをしたいと思います。いっぽう、就職を希望する学生には、納得の行く職場選びができるようサポートしていきます。

COC/COC+事業

COC 事業推進責任者 丸岡 晃

八戸高専では、文部科学省によって支援されているCOC事業およびCOC+事業によって、地域社会との連携、課題解決が実施され、多くの学生、教職員、地方自治体、地域企業が関わっています。

以下に、COC/COC+事業の概要と、最近の具体的な取り組みについて紹介します。

1. COC事業とは

「地（知）の拠点（Center of Community）整備事業」の略称であり、文部科学省が国内の大学を対象として、「地域社会との連携強化による地域の課題解決」や「地域振興策の立案・実施を視野に入れた取り組み」をバックアップする施策で、平成25年度と26年度に公募されました。本校は平成26年度に採択され、平成30年度まで5年間実施されます。

本校で採択された事業名は「青森の資源や人材のコンピテンシ育成拠点プログラム」です。事業の目的は、八戸市およびその周辺地域において、農水産資源や多様なエネルギーの有効利用、産業の活性化と国際的人材育成という課題に対して、地域との効果的な連携を構築しながら解決を図り、平成27年度の学科再編に伴う組織改革・カリキュラム改正に反映させることで、地域志向性をより高くした教育を展開し、地域ニーズに応じた社会貢献を実施していくことです。

2. COC+事業とは

「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」の略称で、平成27年度にCOC事業の発展させたものとして文部科学省より公募されました。大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としています。青森県では、弘前大学が中核となり、青森県の最大の課題である「人

口減少克服」を目的とした「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」が採択され、平成31年度まで5年間実施されます。

八戸高専での担当は、「ブロック事業」として八戸ブロックで産学官による就学・起業支援の展開と、「雇用創出連携プロジェクト」として「ライフ（医工連携）関連産業プロジェクト」を担当しています。

3. 具体的な取り組み

教育面では、地域志向性を高めるため、多くの授業で、地域を知り、地域の課題を解決するような内容を積極的に取り組んでいます。例えば、地域志向性の高い自主探究学習への支援、地域の方々を講師とした北東北学講演会（1年、3年）、専攻科1年ED科目での地域との協働等を行っています。

研究面では、地域課題解決型研究開発プロジェクトを教員に公募し、実施しています。卒業研究の課題とすることで、学生も地域課題に関心を持つようになっていきます。

社会貢献面では、出前授業、公開講座を充実させており、多くの教員が新規テーマ開発を行っています。これらの成果は、12月にラピアで開催された「まちなか文化祭」によって公開され、多くの学生が関わっています。

COC+事業では、八戸高専が主体となり、県企業内容説明会、企業見学会、イノベーション・ベンチャー・アイデアコンテスト、医工連携による新技術の開発・医療福祉サービスの開発を行っています。

どのイベントでも参加した皆さまから高評価を得ています。また、事業を通して教員だけでなく、多くの学生が活躍し、教職員・学生が一体となって事業を進めている姿を地域社会に見せることができます。これからも、継続的に事業を進めていきますので、特に学生の皆さんは、地域に目を向け、積極的に参加してみてください。将来、地域を担う人材として活躍することを願っています。

※COC事業の詳細は、下記URLをご参照下さい。

<http://www.hachinohe-ct.ac.jp/coc/>

ブックハンティング 実施報告



平成29年7月12日（水）に伊吉書院西店において、恒例のブックハンティングを実施しました。参加者は学生会図書委員が中心で、情報工学、技術工学、小説などが主に選書されました。

図書館ではブックハンティングコーナーを設けて展示し、皆様のご利用をお待ちしています。

◎ブックハンティングでの選書紹介

書名	著者名
人工知能が変える仕事の未来	野村 直之
Python による機械学習入門	システム計画研究所
プログラミング言語 C++	ビャーネ・ストラウストラップ
日本震災史：復旧から復興への歩み	北原 糸子
図説科学史入門	橋本 毅彦
科学報道の真相：ジャーナリズムとマスメディア共同体	瀬川 至朗
LGBT を読みとく：クィア・スタディーズ入門	森山 至貴
英単語の世界：多義語と意味変化から見る	寺澤 盾
タンパク質とからだ：基礎から病気の予防・治療まで	平野 久
みんなが知らない超優良企業：新しいニッポンの業界地図	田宮 寛之
無名でもすごい超優良企業：業界地図の見方が変わる！	田宮 寛之
アート×テクノロジーの時代：社会を変革するクリエイティブ・ビジネス	宮津 大輔
入社1年目の教科書	岩瀬 大輔
時間の使い方（学校では教えてくれない大切なこと）	入江 久絵
10年後、君に仕事はあるのか？	藤原 和博
数学的に考える力をつける本：「伝わらない」がなくなる	深沢真太郎
Google 流資料作成術	コール・ヌッスバウマー・ナフリック
秘書検定3級集中講義：ケーススタディで学ぶ	実務技能検定協会
身近な数学の記号たち	岡部 恒治ほか
世界の美しいウミウシ	パイインターナショナル
イヌに「こころ」はあるのか：遺伝と認知の行動学	レイモンド・コッピンジャー、マーク・ファインスタイン

書名	著者名
寝ても寝ても疲れがとれない人のためのスッキリした朝に変わる睡眠の本	梶本 修身
どうなるどうするストレスチェック：ストレスと心の健康	サートプロ 内田 星治
2050年の技術：英『エコノミスト』誌は予測する	英エコノミスト編集部
冷凍・空調の基本がわかる本	関上 邦衛
電子回路の基礎マスター	船倉 一郎
眺望絶佳の打ち上げ花火 花火の名前や特徴がわかるビジュアルブック	金武 武
発酵の技法：世界の発酵食品と発酵文化の探求	サンダー・エリック ス・キャッツ
ヨチヨチ父：とまどう日々	ヨシタケ シンスケ
ネットのルール（学校では教えてくれない大切なこと）	関 和之
プロが教える！CLIP STUDIO PAINT 最強デジコミ制作講座	小高みちる
「ファンタジー背景」描き方教室 Photoshopで描く！心を揺さぶる風景の秘訣	よー清水
幻獣デザインのための動物解剖学 絶滅種・恐竜を含むあらゆる動物の骨格と筋肉	テリル・ウィットラッチ
ABOVE THE WORLD：ドローンから見た世界	DJI
図鑑デザイン全史	柏木 博
発達障害の僕が輝ける場所をみつけられた理由	栗原 類
俺たちは異世界に行ったらまず真っ先に物理法則を確認する	藍月 要
俺たちは異世界に行ったらまず真っ先に物理法則を確認する2	藍月 要
成功者 K	羽田 圭介
メンヘラ刑事（デカ）	本田 晴巳
人はアンドロイドになるために	石黒 浩 飯田 一史
劇場	又吉 直樹
菓子さんと果てない舞台	三上 延
朽ちる散る落ちる	森 博嗣
騎士団長殺し	村上 春樹
月の満ち欠け	佐藤 正午
とんび	重松 清
小説言の葉の庭	新海 誠
AIと人類は共存できるか？：人工知能 SF アンソロジー	長谷 敏司ほか
写真で見るヴィクトリア朝ロンドンとシャーロック・ホームズ	アレックス・ワーナー
多文化アメリカの萌芽 19～20世紀転換期文学における人種・性・階級	里内 克巳



相談室長 矢口 淳一

いろいろな悩みを持つことはごく当たり前のことです。夜なかなか眠れない、気の疲れがある、学校で自分の居場所がないなどから、授業がおもしろくない、勉強方法が分からない、進路について悩んでいるといったことまで、相談室ではあらゆる悩みの相談にのっています。

また、こころの病にかかりそう、といった切実な悩みには専門のカウンセラーによる支援を行っています。精神科医も定期的に来校していますので、学生はもちろん保護者の皆さんもお気軽にご相談ください。

小中学校で発達障害等の診断を受けている場合や、発達障害等が疑われる場合で支援が必要と思われる際にはお知らせください。障害を理由とする差別の解消に関する相談窓口を設けておりますので、ご相談の上支援チームを組むなど、適切に

対応していきます。

いずれの場合も秘密は厳守します。

昨年、11月末に保健室と共に相談室もゼミ棟1階に移転しました。下の写真にありますように以前より少し広く、冬はこたつで温かい雰囲気です。相談できますので、是非いらしてください。学年末を迎え、不安な気持ちでいる学生も多いと思います。相談室はこころの窓口ですので、気軽にノックしてください。

☆相談室連絡先 電話 0178-27-7236

(保健室)

☆学生本人と保護者の方々が利用になれる高専機構の「KOSEN健康相談室」フリーダイヤル0120-50・24・12もあります。(受付時間：24時間365日)



新聞に掲載された学生の活躍 (受賞等)

主 催	受賞内容	研究テーマ	受賞した学生		指導教員
日本農芸化学会	ジュニア農芸化学会2017銅賞	「ナガイモ成分の産地間比較と機能性解析」	C4	田口 理央	マテリアル・バイオ工学コース 山本 歩准教授
			C4	横浜 希	
			C3	浅野 雅	
一般社団法人セメント協会	第71回セメント技術大会優秀講演者賞	「セシウム吸着ゼオライト固化技術におけるHPC-FA系固化材の物性評価」(共著者：庭瀬一仁 准教授, 佐藤正知 北海道大学名誉教授)	AZ2	馬渡 大壮	環境都市・建築デザインコース 庭瀬一仁准教授
長岡技術科学大学	第1回全国高専「発酵を科学する」アイデアコンテスト最優勝賞	「太古の神秘～モール温泉の黒さの謎に迫る～」	C5	新毛 実結	マテリアル・バイオ工学コース 山本 歩准教授
			C4	横浜 希	
第12回国際環境変異原学会	がん研究成果ベストプレゼン賞	Peroxisome Proliferator Activated Receptor-Mediated Genotoxicity of Perfluoroalkyl Acids Using Human Lymphoblastoid Cells	C5	小島 聖	マテリアル・バイオ工学コース 佐々木 有教授
一般社団法人芸術科学会	NICOGRAPH2017ベスト作品賞	「北限の海女仮想体験学習システム「海女 via-WHB」」	AE2	坂本 和哉	電気情報工学コース 細川 靖講師
東京工業大学	高校生バイオコン第3位 東工大バイオものコン2018	「King of Fruits ～りんごの力～」	AE1	大坂 侑平	
			修了生	平館 侑樹	
			C3	秋元日菜子	マテリアル・バイオ工学コース 川口恵未 助教
			C3	高村 杏佳	
青森COC+推進機構(八戸ブロック)	イノベーション・ベンチャー・アイデアコンテスト グランプリ	「邪魔者ヒトデの可能性」	C3	中村日向子	総合科学教育科 吉田雅昭准教授
仙台高専	東北地区産学連携シンポ最優秀賞	「攪拌槽内における塩化第二銅溶液による銅のエッチング挙動」	C3	沼田 萌花	
			E1	中田 陸	マテリアル・バイオ工学コース 松本克才教授 新井宏忠准教授
青森県吹奏楽連盟など	第13回青森県管楽器ソロコンテスト最優秀グランプリ、大学・一般・職場の部 部門賞・金賞	楽器：サクソ	AC1	竹原万莉那	
			C3	葛西 美音	

第54回東北地区高等専門学校体育大会ラグビー競技結果

日 程	大 会 会 場	結 果
H29. 10/20～24	青森原燃テクノロジーセンター	2回戦敗退

第52回全国高等専門学校体育大会結果一覧

団体の部（全成績）

競 技 名	大 会 会 場	男 子	女 子
バレーボール	大田区総合体育館	予選リーグ敗退	
柔 道	長岡市市民体育館	予選リーグ敗退	
卓 球	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	3 位	
バスケットボール	ホワイtring（長野市真島総合スポーツアリーナ）		初戦敗退

個人の部

競 技 名	種 目 名	科年	氏 名	成 績
陸 上 競 技	男子 400m	M 2	水 口 広 太	予選敗退
	男子 110mH	E 1	對 馬 惇 史	予選敗退
	男子 3000mSC	C 4	小 橋 和 樹	14 位
	男子 3000mSC	C 4	小 山 浩 亮	12 位
	男子 4 × 400mR	M 2	水 口 広 太	予選敗退
		E 4	山 田 聖 弥	
		E 4	高比座 海 斗	
		C 4	小 山 浩 亮	
	男子走幅跳	E 4	高比座 海 斗	予選敗退
	男子三段跳	E 4	高比座 海 斗	予選敗退
	男子砲丸投	M 2	井 筒 将 大	予選敗退
	男子やり投	M 2	井 筒 将 大	予選敗退
	女子 800m	Z 2	宮 珠 莉	予選敗退
	女子走高跳	C 4	津 村 舞 奈	8 位
	女子砲丸投	C 4	横 浜 希	予選敗退
柔 道	女子	Z 1	赤 石 知 観	3 位
卓 球	男子ダブルス	Z 3	畑 中 亮 祐	3 位決定トーナメント初戦敗退
		M 2	原 颯 杜	
水 泳	男子 200m バタフライ	M 2	嵯 峨 駿 佑	予選敗退
	男子 100m バタフライ	M 2	嵯 峨 駿 佑	予選敗退
	男子 200m 個人メドレー	C 2	松 川 和 磨	予選敗退

第4回全国高等専門学校弓道大会結果一覧

種 目 名	科年	氏 名	成 績
女 子 個 人 の 部	M 3	花 田 るえ野	予選敗退

秋季県大会を振り返って

硬式野球部顧問 福松 高博

八戸高専硬式野球部は、初出場となる平成29年度秋季青森県高等学校野球選手権大会兼第70回秋季東北地区高等学校野球大会予選会において、大湊高校、弘前工業高校、三沢商業高校といった青森県内強豪校相手に勝利を収め、3位決定戦で八戸学院光星高校に敗れ東北大会出場はならなかったものの、ベスト4という実績を残すことができました。また、このような部活動面での活躍に加えて、日頃の勉強および秋学期の自主探究といった学習研究活動と両立させており、文武両道を実践している点が評価され、「21世紀枠」の候補校として青森県から推薦を受けました。今回、県大会ベスト4まで勝ち上がっていく中で、不慣れな部分も多々あったかと思いますが、大会中、硬式野球部を支えてくださった保護者の方々、先生および学生の皆様、本当にありがとうございました。

秋季大会にて、このような素晴らしい実績を残した彼らですが、8月に新チームが始まった時には、正直不安のほうが大きかったです。3年生が抜けてチーム力が落ちたというところもありますが、2年生のチームを引っ張るという意識が低かったことが問題でした。もちろん強い気持ちを持って臨んでくれる学生もいましたが、チームとしてまとまりのない状態でした。

そんな中、夏のリーグ戦が始まったのですが、このリーグ戦が大きな転機となりました。試合前は厳しい戦いになると予想していましたが、結果は3戦3勝、そのうち1つはコールドゲームで勝つことができました。初戦に勝てたことで学生の中で自信が生まれ、さらに試合を一つ勝つごとに、ベンチからの声が大きくなり、表情もプレーも引き締まっていく姿が見てとれました。本当に、学生たちの成長の早さに驚かされる大会でした。

リーグ戦後すぐに地区大会、県大会が始まるのですが、地区大会ではリーグ戦の勢いそのままです。試合に臨むことができ、選手たちはのびのびと野球をしていたように感じます。県大会は、初出場ということもあり選手・先生共々緊張はしていま

したが、初戦で先取点をとったことで流れに乗ることができました。後の試合は、勢いだけで勝っていったというか何というか（笑）、選手たち自身も驚いていたことを覚えています。最後は、強豪校に負けて東北大会出場を逃しましたが、選手たちにはいい経験になったと思います。

現在、グラウンドは雪に覆われているため、屋外でボールを使った練習はできません。その代わり、バドミントンの羽を使ったティーバッティングや、筋力トレーニングを精力的に行っています。冬の時期の厳しい練習にも打ち勝ち、来年度、さらなる活躍を期待しています。



ロボコン東北地区大会を開催して

競技委員長 河村 信治

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017東北地区大会が、本校主管で、10月1日（日）に八戸市東体育館にて開催されました。競技名は「大江戸ロボット忍法帳」で、ロボット同士で風船を割りあう激しい熱戦が繰り広げられました。本校チームも地元代表に相応しい善戦ぶりを見せてくれました。

今年は高専ロボコン第30回の節目の大会で、さらに東北大会はその地方大会の1番手ということで、主催する全国高専連合会とNHKの関係者、また他地区の競技運営スタッフからも注目され、視察来訪も多くありました。メイン審査員には宇宙ロボット開発で高名な吉田和哉東北大学教授をお招きしました。開催にあたりご協力いただいた多数の学生と教職員の皆様に、競技委員長として深く御礼申し上げます。なお、大会の様子はNHK番組ホームページでご覧になれます。

〈平成29年度 各種コンテスト結果一覧〉

本田宗一郎杯 Honda エコ マイレージ チャレンジ 2017 第37回 全国大会

日程：平成29年 9月30日(土)～ 10月1日(日)
会場：ツインリンクもてぎ(栃木県芳賀郡茂木町)
結果：八戸高専自動車工学部BG号
5位／高専内 2位
八戸高専自動車工学部NP号IV
6位／高専内 3位



アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2017 東北地区大会

日程：平成29年10月1日(日)
会場：八戸市東体育館
結果：Aチーム 斑鳩(イカルガ) 2回戦敗退
(技術賞・特別賞)
Bチーム 晴天マッシュグラマー 初戦敗退



全国高等専門学校 第28回プログラミングコンテスト

日程：平成29年10月8日(日)～ 9日(月)
会場：周南市文化会館(山口県周南市)
結果：Virtual Recreation Boccia
敢闘賞(備考：課題部門)



全国高等専門学校 デザインコンペティション2017 in 清流の国ぎふ

日程：平成29年12月2日(土)～ 3日(日)
会場：じゅうろくプラザ(岐阜県岐阜市)
結果：陸奥国糠部郡 23位／56チーム
(構造デザイン部門)



平成29年度 各種検定資格合格者一覧

			第1学年					第2学年					第3学年					第4学年					第5学年					合 計
			M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	
特別 学 修 																												

ス ポ ー ツ 賞 受 賞 者

ク ラ ブ 名	(表彰を受けた) 団体名等	名 称	クラス	氏 名	クラス	氏 名	クラス	氏 名	クラス	氏 名
写 真 部	日刊スポーツ 第3回みちのく高校生スポーツ写真コンテストへアスリートの夏	東北総局賞	Z4	小笠原舜太						
	八戸三社大祭写真コンテスト	入 選	Z4	小笠原舜太						
男 子 バレー ボール 部	青 森 県 体 育 協 会	優秀選手賞	Z5	夏坂 優希	Z5	今泉 尚也	E5	長内 嵩明	E5	田中 大樹
			E5	平川 周汰	C4	齊藤 基	Z4	畠山 拓也	M3	石橋 薫
			M3	浪打 啓太	M2	長畑 慶彦	M2	古館 昂大	M2	南館 拓実
			C1(L1)	面野陽一朗	Z1(L4)	河原木康平				
	青森県バレーボール協会	特 別 賞	Z5	夏坂 優希	Z5	今泉 尚也	E5	長内 嵩明	E5	田中 大樹
			E5	平川 周汰	C4	齊藤 基	Z4	畠山 拓也	M3	石橋 薫
			M3	浪打 啓太	M2	長畑 慶彦	M2	古館 昂大	M2	南館 拓実
			C1(L1)	面野陽一朗	Z1(L4)	河原木康平				
	八戸市バレーボール協会	優秀選手賞 奨 励 賞	E5	長内 嵩明	E5	平川 周汰	M3	浪打 啓太		
			M3	石橋 薫	M2	長畑 慶彦	E4	志民 真由		
卓 球 部	八 戸 市 卓 球 協 会	敢 闘 賞	Z3	畑中 亮祐	M2	原 颯杜	Z4	山本 凌	M1(L2)	齊藤 皐滉
			E1(L4)	森岩 昂弘	E2	上野 陸斗	M2	小川 大智	C5	福田浩太郎
			M5	二又 克也						
バドミントン部	八戸市バドミントン協会	優秀選手賞	M3	木村 龍一	Z3	赤坂 綾斗				

卒業生・修了生表彰

校 長 特 別 表 彰			C	新 毛 実 結	課 外 活 動 功 労 賞	吹 奏 楽 部	C	村 畑 夢 咲
学 業 成 績 優 秀 賞			M	安 村 祐 哉		電 子 情 報 工 学 部	Z	唐 牛 良 太 郎
			E	武 田 一 希		総 合 デ ザ イ ン 部	E	赤 平 芹 南
			C	新 毛 実 結		書 道 部	C	田 村 飛 美 輝
			Z	浜 山 千 佳		陸 上 競 技 部	E	佐 賀 健 志
			AE	佐 藤 航 大		男 子 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部	Z	春 日 賢 一 朗
学 年 学 業 成 績 優 秀 賞			M	安 村 祐 哉		女 子 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部	C	大 澤 麻 依
			E	武 田 一 希		男 子 バ レ ー ボ ー ル 部	Z	夏 坂 優 希
			C	新 毛 実 結		女 子 バ レ ー ボ ー ル 部	C	岸 川 奈 那
			Z	浜 山 千 佳		ソ フ ト テ ニ ス 部	E	浪 岡 洋 史
			AE	佐 藤 航 大		卓 球 部	M	二 又 克 也
校 長 特 別 表 彰			AZ	馬 渡 大 壮	学 生 会 ・ 寮 生 会 活 動 功 労 賞	柔 道 部	Z	酒 井 大 誠
皆 勤 賞			C	小 島 聖		硬 式 野 球 部	E	四 役 崇 明
			M	小笠原 怜 唯		サ ッ カ ー 部	M	高 津 勇 武
				関 根 大 智		バ ド ミ ン ト ン 部	C	白 沢 暢
				藤 森 大 将		ラ グ ビ ー フ ッ ト ボ ー ル 部	Z	蛭 名 優
				程 熊 幸 佑		ハ ン ド ボ ー ル 部	E	河 原 木 裕 太
				安 村 祐 哉		山 岳 部	C	渡 邊 礼 美
			E	甲 田 智 也		ロ ボ ッ ト コ ン テ ス ト	M	館 ヶ 沢 尚 希
				松 元 ぼ の 香		ロ ボ ッ ト コ ン テ ス ト	M	程 熊 幸 佑
				鈴木 涼 平		ロ ボ ッ ト コ ン テ ス ト	E	甲 田 幸 大
				山 下 翔 太		プ ロ グ ラ ミ ン グ コ ン テ ス ト	E	戸 来 圭 佑
				堰 合 ち ひ ろ		学 生 会	E	浪 岡 洋 史
精 勤 賞			M	館ヶ沢 尚 希	学 生 会 ・ 寮 生 会 活 動 功 労 賞	寮 生 会	C	軽 米 花 織
				館 向 拓 海			Z	栗 澤 佳 穂
				西 村 優 弘			Z	今 泉 尚 也
				林 優 貴				
				俣 田 舜				
			E	長 内 嵩 明				
				佐 藤 一 真				
				武 田 一 希				
				外 里 有 蘭				
				長 沢 湖 樹				
卒業・特別研究最優秀賞			C	小 野 楓 花				
			M	矢 澤 慎 也				
			E	佐 賀 健 志				
卒業・特別研究優秀賞			C	新 毛 実 結				
			M	安 村 祐 哉				
				関 根 大 智				
			E	武 田 一 希				
			C	長 沢 湖 樹				

M：機械工学科 E：電気情報工学科 C：物質工学科 Z：建設環境工学科
 AM：機械システムデザインコース AE：電気情報システム工学コース
 AC：マテリアル・バイオ工学コース AZ：環境都市・建築デザインコース



物質工学科第5学年



機械工学科第5学年



建設環境工学科第5学年



電気情報工学科第5学年



専攻科第2学年

